

産業廃棄物の排出及び処理状況等（平成 18 年度実績） について



環境省は平成20年 12月18日、平成 18年度の産業廃棄物の排出及び処理状況等について調査結果を公表しました。

18年度の全国の産業廃棄物の総排出量は約4億1,850万トンで、17年度に比べ、約300万トン（約0.8%）の減少となりました。

業種別排出量では17年度と同様、電気・ガス・熱供給・水道業（総排出量中23.2%）、農業（同21.0%）、建設業（同18.5%）、鉄鋼業（同9.2%）、パルプ・紙・紙加工品製造業（同8.1%）、化学工業（同4.1%）の上位6業種で総排出量の約8割を占める結果となり、廃棄物の種類別排出量も17年度同様、汚泥（44.3%）、動物のふん尿（20.9%）、がれき類（14.5%）の上位3品目だけで総排出量の約8割に達しています。

尚、再生利用量は約2億1,477万トン（17年度約2億1,889万トン）はわずかに減少していますが、減量化量が約1億8,193万トン（同約1億7,856万トン）と増加し、最終処分量は17年度の約2,423万トンより約243万トン少ない約2,180万トンにとどまりました。

当社では、産業廃棄物の分析を行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

資料 2008 年 12 月 18 日付 環境省ホームページ

土壌環境箇所 明石康伸